

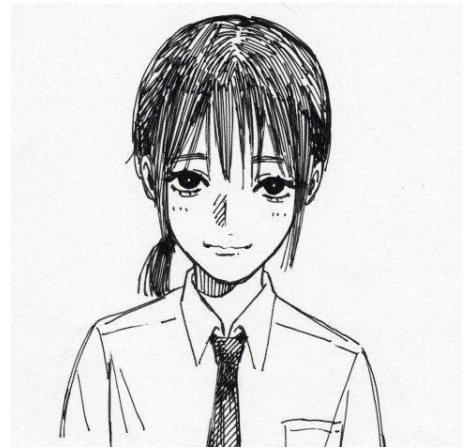
人権だより

No.338(2026.9)

『小さな一歩から、平和な世界へ』

6年2組 人権委員長 前田 空

わたし じんけん いんかい じんけん かんが
私たち人権委員会では、人権について考え
へいわ おも ひろ
平和への思いを広げていくために、さまざまな
かつどう と く わたし まいあさ がっこう
活動に取り組んでいます。私たちが毎朝学校
とうこう じゅぎょう う ゆうじん
へ登校し、授業を受け、友人たちとおしゃべり
いえ かえ かぞく ふつう す あんしん
し、家に帰ると家族と普通に過ごし、安心して
まいにち おく けつ あ まえ
毎日を送ることができるのは、決して当たり前
のことでありません。世界では今も戦争や紛
そう じぶん す ばしょ はな
争によって、自分の住んでいる場所を離れなけ
ればならなかったり、学校に通えなかったり家族
はな く ひと せんそう おお いのち うば
と離れて暮らしたりしている人がいます。戦争は多くの命を奪うだけでなく、
あんしん い まな たいせつ ひと く ひと
「安心して生きること」「学ぶこと」「大切な人と暮らすこと」など、人が
う へいわ かんが じぶん こうどう うつ たいせつ かんが
生まれながらに持っている大切な権利まで奪ってしまいます。だからこそ私たちは、
平和について考え自分たちにできることを行動に移すことが大切だと考えて
います。また、私たち人権委員会は毎年、ヒマワリの種を植える活動を行っています。
ちい ひとつぶ たね せかい へいわ ねが おも こ たね う
小さな一粒の種に世界の平和を願う思いを込めています。種を植えるという
こうどう ちい こうどう つづ ひと
行動そのものは、とても小さなものです。しかし、その行動を続け、たくさんの人に
おも つた おお いみ おも じんけん もんだい
思いを伝えていくことには、大きな意味があると思います。人権問題というと、
せかい お おお もんだい おも う じんけん
世界で起こっている大きな問題を思い浮かべるかもしれません。しかし、人権を
たいせつ みちか はじ あいて きも
大切にすることは、身近なところから始めることができます。相手の気持ちを
かんが ちが ひてい こま ひと よ そ ひとり
考えること、違いを否定しないこと、困っている人に寄り添うことなど、一人ひとり
ちい こうどう だれ あんしん す しゃかい おも
の小さな行動が誰もが安心して過ごせる社会につながるのだと思います。ヒマワ
たね ひとつぶ め だ はな さ ひとり へいわ
リの種一粒が芽を出し、やがて花を咲かせるように、私たち一人ひとりの平和へ
おも すこ ひろ みちか じんけん
の思いも、少しずつ広がっていったほしいです。みなさんも、身近にある人権につ
じぶん なに いまいちど かんが
いて、自分にできることは何か、今一度考えてみませんか。



【保護者の声】文章を読んだPTA人権活動委員の方の感想です。

- 世界中の人々が身近な人権を考え、相手の立場に立って考えることができたなら、争いがなくなる平和な世界へと歩みだせるのかもしれませんが。私たち大人も忘れてはいけない人権が身近にあります。それは「子どもの人権」です。1989年に国連で40もの項目によって国際条約が採択され、日本においても子ども基本法によって大切にされている考え方です。生徒の皆さんが世界平和を願うように、私は子どもたち一人ひとりの平和を願っています。

【人権委員の声】

- 日本で生まれ戦争を昔の事のように感じてしまっていますが、世界では今も苦しんでいる人が多いという状況に言いようもない悲しみを感じます。今もなお続いている、人が生まれながらに持っている様々な権利を侵害する戦争について平和を願い植えたヒマワリの成長を見守りながら考えを深めていけたらと思っています。一人ひとりの平和への思いが広がり、世界中の人が安心して生活できるという種が蒔かれ、大きな花を咲かせられる世界が訪れるよう、身近な事から行動していきたいです。
- テレビなどいろいろなところで戦争や紛争を見たり聞いたりすると、今の自分にとっての当たり前の日常は普通でなく、ありがたいことだと感じさせられます。私は何年も人権委員をやってきた中で、文化祭のひまわりの種の配布や募金は地域の人へ平和や人権についてさらに興味を持ってもらう大切な活動だと感じました。今後もこの活動を後輩には続けてほしいです。
- 戦争による苦しみは計り知れません。私たちが今当たり前に学校へ行き、友達と勉強したり楽しく会話している生活が、いかに幸せであるか改めて感謝したいです。また、世界の平和を願い活動する人権委員の取組を大切にしたいと思いました。
- 戦争や人権という言葉はみんな知っていて当たり前のことではあるけど、どこか遠く、他人事に思っていました。私は人権委員として、身近なことからできることがあるとわかりました。「安心して生きる事」「大切な人と暮らす事」は当たり前の事ではないんだと気付きました。
- 戦争が絶えることのない世の中だけど、一人ひとりが人権について考える機会を作ること意識が高まり、世界平和が実現できたらいいなと思いました。私たちは人権委員として、これからも一生懸命活動して、私たちの平和への思いを広げていけたらいいなと改めて実感しました。

以上、6年生人権委員の感想でした。

